

第6期吹田市障がい福祉計画 実績評価シート

2 成果目標

(5) 相談支援体制の充実・強化等(計画45ページから48ページ)

表1から表2まであり

ア 目標

総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を実施する体制を確保する。

イ 成果目標に対する成果

目標値の該当なし(基幹相談支援センター及び市内6ブロックに障がい者相談支援センターを設置済み)

表1 ウ 活動指標(成果目標に対する活動量)の状況

以下表 番号 活動指標 年度ごと実績値 (数値の場合は)対前年度比(%)も表示

1	活動指標 基幹相談支援センターの設置の有無	参考 令和2年度 あり	令和3年度 あり	令和4年度 あり	令和5年度 あり
2	活動指標 地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数(件/年)	参考 令和2年度 11件	令和3年度 9件 対前年度比82%	令和4年度 24件 対前年度比267%	令和5年度 12件 対前年度比50%
3	地域の相談支援事業者の人材育成の支援 実施件数(件/年)	参考 令和2年度 11件	令和3年度 9件 対前年度比82%	令和4年度 24件 対前年度比268%	令和5年度 12件 対前年度比50%
4	地域の相談機関との連携強化の取組 実施件数(件/年)	参考 令和2年度 11件	令和3年度 9件 対前年度比82%	令和4年度 24件 対前年度比268%	令和5年度 12件 対前年度比50%
5	発達障がい パARENTトレーニングやPARENTプログラム等の支援プログラム等の受講者数(人/年)	参考 令和2年度 49件	令和3年度 60件 対前年度比122%	令和4年度 185件 対前年度比308%	令和5年度 89件 対前年度比48%
6	計画相談支援利用者数(人/月)	参考 令和2年度 1,451人	令和3年度 1,583人 対前年度比109%	令和4年度 1,659件 対前年度比105%	令和5年度 1,765件 対前年度比106%
活動指標に対する活動量の推移の評価		×	前年度と比べて減少傾向が顕著である		

表2 エ 成果目標達成に向けての取組の状況 ★は重点取組

以下表 対応する計画本文 年度 取組状況を表示

	計画本文	令和3年度 取組状況	令和4年度 取組状況	令和5年度 取組状況
★ 1	(ア) 障がい者相談支援センターの認知度を高める取組を行うとともに、地域の身近な相談窓口として相談者に最適な支援が行えるよう、機能強化に取り組めます。	障がい者相談支援センターの認知度を高めるために、公共施設等ヘチラシ等の配架や各センターにおいての地域訪問等を実施した。また、センター長会議にて、情報や支援実施内容の共有、事例検討により機能強化に努めた。	引き続き障がい者相談支援センターの認知度を高めるために、公共施設等ヘチラシ等の配架や各センターにおいての地域訪問等を実施した。また、地域会議にて事例検討等を行い機能強化に取り組んだ。	引き続き障がい者相談支援センターの認知度を高めるために、公共施設等ヘチラシ等の配架を実施した。また各センターの地域会議等において、地域訪問や地域資源の開拓、連携等を実施した。

★ 2	計画本文 (イ)サービスの支給決定に先立ち、サービス等利用計画が必ず作成されるよう、計画相談支援事業所における相談支援専門員の確保など体制整備の取組を継続します。	令和3年度 取組状況 相談支援専門員の充実、確保の方策として、障害福祉サービス等利用計画等普及促進事業補助制度を実施した。計画相談導入率は令和2年度で約50%であったものが令和3年度では約60%となった。	令和4年度 取組状況 相談支援専門員の充実、確保の方策として、障害福祉サービス等利用計画等普及促進事業補助制度を実施した。補助事業は令和4年度で終了したことから、効果を検証し、来年度以降の再度実施に向けて検討した。	令和5年度 取組状況 令和5年10月から、従来の障害福祉サービス等利用計画等普及促進事業補助金に加え、相談支援従事者初任者研修受講料補助金、市相談支援事業所借上費補助金を創設し、相談支援専門員の体制整備を行った。
★ 3	計画本文 (ウ)基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核機関として、計画相談支援事業所や障がい者相談支援センターだけでは解決が困難な課題が発生した場合に専門的な指導や助言を行います。また、研修等を実施し、相談者のニーズを十分に引き出し、相談者の状況や意向を勘案しながら適切なサービスにつなぐことができる相談員等の育成に取り組みます。	令和3年度 取組状況 相談支援センターや計画相談が対応している困難ケースについては、基幹相談支援センターとのカンファレンスや会議を通して指導や助言を実施した。また、計画相談支援専門員研修において、基幹相談支援センターとの意見交換を行うことにより、相談員の育成に努めた。	令和4年度 取組状況 基幹相談支援センターとして、計画相談支援事業所などが対応に苦慮しているケースについては、随時に指導や助言を実施した。また、計画相談支援専門員研修においても、基幹相談支援センターとしての意見を伝えることにより、相談員の育成に努めた。	令和5年度 取組状況 基幹相談支援センターとして、計画相談支援事業所などが対応に苦慮しているケースについては、随時に指導や助言を実施した。また、計画相談支援専門員研修のインターバル期間において、基幹相談支援センターとして個別の事例検討に対してスーパーバイズを行い、相談員の育成に努めた。
★ 4	計画本文 (エ)高齢者や障がい児等の各分野にまたがる課題について、相談から適切な支援につなげるため、相談支援及びその他関係機関との連携体制の構築に取り組みます。また、居住支援協議会(Osakaあんしん住まい推進協議会)と連携するとともに、吹田市地域自立支援協議会地域会議において、障がい者等の支援に係る課題解消を図るため、社会資源の現状分析や評価等を行うとともに、情報共有や相互連携に取り組みます。	令和3年度 取組状況 地域自立支援協議会の地域会議において、地域課題を抽出し課題解消に向けた取組を行うため、地域会議について令和4年度から運営を開始するよう、あり方も含め検討した。また、居住支援については、精神障がいにも対応した包括ケアシステム部会において検討した。	令和4年度 取組状況 地域自立支援協議会の地域会議において、地域課題を抽出し課題解消に向けた取組を行うため、6箇所の障がい者相談支援センターによって地域会議を実施した。居住支援については、引き続き精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム部会において検討するとともに、吹田市居住支援協議会に参画し協議した。	令和5年度 取組状況 地域自立支援協議会の地域会議において、地域課題を抽出し課題解消に向けた取組を行い、地域訪問や地域資源の開拓、連携等を実施した。居住支援については、引き続き精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム部会において検討するとともに、吹田市居住支援協議会に参画し協議した。

	計画本文	令和3年度 取組状況	令和4年度 取組状況	令和5年度 取組状況
5	(オ)さまざまな障がいのうち、発達障がい、診断までに時間を要するなど「見えにくい」障がいとして考えられことから、支援の入口部分である相談や支援について、大阪府発達障がい者支援センターと連携しながら体制強化を図り、発達障がい者の意向を尊重し、最適なサービスにつなぐことができるよう取り組みます。また、発達障がいのある児童の家族への支援として実施しているペアレントトレーニング及びペアレントプログラムについては、引き続き受講者数の増加をめざします。なお、ペアレントメンター養成事業及びピアサポート推進事業に関しては、今後、事業のあり方について検討します。	発達障がいの支援については、相談があった場合の対応のほか、より最適なサービスにつなげるため、大阪府発達障がい者支援センターとの連携について検討した。 また、ペアレントトレーニング及びペアレントプログラムについては受講者数を増やして実施した。ペアレントメンター養成事業及びピアサポート推進事業に関しては、事業のあり方について検討した。	発達障がいの支援については、相談があった場合の対応のほか、より最適なサービスにつなげるため、大阪府発達障がい者支援センターとの連携について検討した。 また、ペアレントトレーニング及びペアレントプログラムについては継続して実施した。ペアレントメンター養成事業及びピアサポート推進事業に関しては、事業制度について検討した。	発達障がいの支援については、相談対応のほか、必要に応じて大阪府発達障がい者支援センターと連携するなど、最適なサービスにつなげるよう取り組んでいる。 また、ペアレントトレーニング及びペアレントプログラムについては受講者数を増やして継続して実施した。ペアレントメンター養成事業及びピアサポート推進事業に関しては、事業制度について検討した。
	成果目標達成に向けての取組の進捗度評価	○	取組を実施しているが着手するべき取組が残っている	

オ 評価

(ア) 分析

相談支援の中核機関として基幹相談支援センターを設置するとともに、地域の相談窓口の機能として6か所の障がい者相談支援センターを設置している。地域課題の解消については地域会議で検討するとともに、対応に苦慮するケースについては基幹相談支援センターが指導・助言を行うなど、役割分担をし、相談支援機能の充実を図っている。

(イ) 総合評価 C

(ウ) 今後の取組

令和6年度から相談件数に応じた体制強化が可能となるよう障がい者相談支援センターの人件費等を増額することとしているが、基幹相談支援センターの相談支援件数は、対象者の増加とともに年々増え続けているため、基幹業務の委託化も含め、更に検討が必要。

第6期吹田市障がい福祉計画 実績評価シート

3 障がい福祉サービス等の利用見込みとその確保策

(1) 障がい福祉サービス及び相談支援サービス(計画52ページから62ページ)

ア 訪問系サービス

表1から表2まであり

表1 (ア) 実績値の推移

以下表 項目 年度ごとの見込み 年度ごとの実績値 実績値の対見込量比(%)

実績値対前年度比(%)を表示

1	居宅介護	月平均利用者数	身体	令和3年度見込み 267人	令和4年度見込み 264人	令和5年度見込み 261人	令和2年度実績 308人	令和3年度実績 321人	令和4年度実績 322人	令和5年度実績 334人	令和5年度対見込 量128%	令和5年度対前年度比横ばい 104%
2	居宅介護	月平均利用者数	知的	令和3年度見込み 212人	令和4年度見込み 219人	令和5年度見込み 227人	令和2年度実績 283人	令和3年度実績 303人	令和4年度実績 305人	令和5年度実績 322人	令和5年度対見込 量142%	令和5年度対前年度比横ばい 106%
3	居宅介護	月平均利用者数	精神	令和3年度見込み 308人	令和4年度見込み 327人	令和5年度見込み 347人	令和2年度実績 376人	令和3年度実績 424人	令和4年度実績 457人	令和5年度実績 493人	令和5年度対見込 量142%	令和5年度対前年度比横ばい 108%
4	居宅介護	月平均利用者数	障がい児	令和3年度見込み 50人	令和4年度見込み 50人	令和5年度見込み 49人	令和2年度実績 69人	令和3年度実績 78人	令和4年度実績 86人	令和5年度実績 79人	令和5年度対見込 量161%	令和5年度対前年度比横ばい 92%
5	居宅介護	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 837人	令和4年度見込み 860人	令和5年度見込み 884人	令和2年度実績 1,036人	令和3年度実績 1,126人	令和4年度実績 1,170人	令和5年度実績 1,228人	令和5年度対見込 量139%	令和5年度対前年度比横ばい 105%
6	居宅介護	量の見込み(月平均利用時間)	身体	令和3年度見込み 8,736時間	令和4年度見込み 8,723時間	令和5年度見込み 8,710時間	令和2年度実績 9,333時間	令和3年度実績 9,907時間	令和4年度実績 10,441時間	令和5年度実績 10,714時間	令和5年度対見込 量123%	令和5年度対前年度比横ばい 103%
7	居宅介護	量の見込み(月平均利用時間)	知的	令和3年度見込み 3,927時間	令和4年度見込み 4,248時間	令和5年度見込み 4,594時間	令和2年度実績 3,785時間	令和3年度実績 4,472時間	令和4年度実績 4,506時間	令和5年度実績 4,826時間	令和5年度対見込 量105%	令和5年度対前年度比横ばい 107%
8	居宅介護	量の見込み(月平均利用時間)	精神	令和3年度見込み 2,880時間	令和4年度見込み 2,823時間	令和5年度見込み 2,767時間	令和2年度実績 3,433時間	令和3年度実績 4,403時間	令和4年度実績 5,104時間	令和5年度実績 5,593時間	令和5年度対見込 量202%	令和5年度対前年度比横ばい 110%
9	居宅介護	量の見込み(月平均利用時間)	障がい児	令和3年度見込み 933時間	令和4年度見込み 906時間	令和5年度見込み 879時間	令和2年度実績 1,108時間	令和3年度実績 1,235時間	令和4年度実績 1,368時間	令和5年度実績 1,561時間	令和5年度対見込 量178%	令和5年度対前年度比横ばい 年度比上昇 114%
10	居宅介護	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 16,476時間	令和4年度見込み 16,700時間	令和5年度見込み 16,950時間	令和2年度実績 17,659時間	令和3年度実績 20,017時間	令和4年度実績 21,419時間	令和5年度実績 22,694時間	令和5年度対見込 量134%	令和5年度対前年度比横ばい 106%
11	重度訪問介護	月平均利用者数	身体	令和3年度見込み 20人	令和4年度見込み 21人	令和5年度見込み 22人	令和2年度実績 16人	令和3年度実績 15人	令和4年度実績 17人	令和5年度実績 17人	令和5年度対見込 量77%	令和5年度対前年度比横ばい 100%
12	重度訪問介護	月平均利用者数	知的	令和3年度見込み 1人	令和4年度見込み 1人	令和5年度見込み 1人	令和2年度実績 2人	令和3年度実績 2人	令和4年度実績 2人	令和5年度実績 3人	令和5年度対見込 量300%	令和5年度対前年度比 年度比上昇 150%
13	重度訪問介護	月平均利用者数	精神	令和3年度見込み 0人	令和4年度見込み 0人	令和5年度見込み 0人	令和2年度実績 0人	令和3年度実績 0人	令和4年度実績 0人	令和5年度実績 0人	令和5年度対見込 量該当なし	令和5年度対前年度比 該当なし
14	重度訪問介護	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 21人	令和4年度見込み 22人	令和5年度見込み 23人	令和2年度実績 18人	令和3年度実績 17人	令和4年度実績 19人	令和5年度実績 20人	令和5年度対見込 量87%	令和5年度対前年度比横ばい 105%

15	重度訪問 介護	量の見込み(月平均利用時間)	身体	令和3年度見込み 4,475 時間	令和4年度見込み 4,715 時間	令和5年度見込み 4,955 時間	令和2年度実績 2,933 時間	令和3年度実績 3,269 時間	令和4年度実績 3,485 時間	令和5年度実績 3,522 時間	令和5年度対見込 量71%	令和5年度対前年度比横ばい101%
16	重度訪問 介護	量の見込み(月平均利用時間)	知的	令和3年度見込み 9時間	令和4年度見込み 8時間	令和5年度見込み 7時間	令和2年度実績 91時間	令和3年度実績 181時間	令和4年度実績 137時間	令和5年度実績 678 時間	令和5年度対見込 量 9,686 %	令和5年度対前年度比上昇 495%
17	重度訪問 介護	量の見込み(月平均利用時間)	精神	令和3年度見込み 0時間	令和4年度見込み 0時間	令和5年度見込み 0時間	令和2年度実績 0時間	令和3年度実績 0時間	令和4年度実績 0時間	令和5年度実績 0時間	令和5年度対見込 量 該当なし	令和5年度対前年度比該当 なし
18	重度訪問 介護	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 4,484 時間	令和4年度見込み 4,723 時間	令和5年度見込み 4,962 時間	令和2年度実績 3,024 時間	令和3年度実績 3,450 時間	令和4年度実績 3,622 時間	令和5年度実績 4,200 時間	令和5年度対見込 量85%	令和5年度対前年度比上昇 116%
19	同行援護	月平均利用者数	身体	令和3年度見込み 83人	令和4年度見込み 84人	令和5年度見込み 85人	令和2年度実績 92人	令和3年度実績 97人	令和4年度実績 101人	令和5年度実績 106人	令和5年度対見込 量125%	令和5年度対前年度比横ばい105%
20	同行援護	月平均利用者数	障がい児	令和3年度見込み 0人	令和4年度見込み 0人	令和5年度見込み 0人	令和2年度実績 2人	令和3年度実績 1人	令和4年度実績 1人	令和5年度実績 1人	令和5年度対見込 量皆増	令和5年度対前年度比横ばい100%
21	同行援護	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 83人	令和4年度見込み 84人	令和5年度見込み 85人	令和2年度実績 94人	令和3年度実績 98人	令和4年度実績 102人	令和5年度実績 107人	令和5年度対見込 量126%	令和5年度対前年度比横ばい105%
22	同行援護	量の見込み(月平均利用時間)	身体	令和3年度見込み 2,278 時間	令和4年度見込み 2,318 時間	令和5年度見込み 2,358 時間	令和2年度実績 1,788 時間	令和3年度実績 1,874 時間	令和4年度実績 1,966 時間	令和5年度実績 2,000 時間	令和5年度対見込 量85%	令和5年度対前年度比横ばい102%
23	同行援護	量の見込み(月平均利用時間)	障がい児	令和3年度見込み 0時間	令和4年度見込み 0時間	令和5年度見込み 0時間	令和2年度実績 12時間	令和3年度実績 1時間	令和4年度実績 1時間	令和5年度実績 1時間	令和5年度対見込 量皆増	令和5年度対前年度比横ばい100%
24	同行援護	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 2,278 時間	令和4年度見込み 2,318 時間	令和5年度見込み 2,358 時間	令和2年度実績 1,800 時間	令和3年度実績 1,875 時間	令和4年度実績 1,967 時間	令和5年度実績 2,001 時間	令和5年度対見込 量85%	令和5年度対前年度比横ばい102%
25	行動援護	月平均利用者数	知的	令和3年度見込み 204人	令和4年度見込み 236人	令和5年度見込み 274人	令和2年度実績 191人	令和3年度実績 204人	令和4年度実績 231人	令和5年度実績 244人	令和5年度対見込 量89%	令和5年度対前年度比横ばい106%
26	行動援護	月平均利用者数	精神	令和3年度見込み 1人	令和4年度見込み 1人	令和5年度見込み 1人	令和2年度実績 3人	令和3年度実績 3人	令和4年度実績 3人	令和5年度実績 6人	令和5年度対見込 量600%	令和5年度対前年度比上昇 200%
27	行動援護	月平均利用者数	障がい児	令和3年度見込み 8人	令和4年度見込み 10人	令和5年度見込み 13人	令和2年度実績 11人	令和3年度実績 15人	令和4年度実績 17人	令和5年度実績 24人	令和5年度対見込 量185%	令和5年度対前年度比 上昇 141%
28	行動援護	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 213人	令和4年度見込み 247人	令和5年度見込み 288人	令和2年度実績 205人	令和3年度実績 222人	令和4年度実績 251人	令和5年度実績 274人	令和5年度対見込 量95%	令和5年度対前年度比横ばい109%

29	行動援護	量の見込み(月平均利用時間)	知的	令和3年度見込み 5,052時間	令和4年度見込み 5,720時間	令和5年度見込み 6,476時間	令和2年度実績 4,030時間	令和3年度実績 4,551時間	令和4年度実績 5,519時間	令和5年度実績 6,536時間	令和5年度対見込 量101%	令和5年度対前年度比 上昇118%
30	行動援護	量の見込み(月平均利用時間)	精神	令和3年度見込み 19時間	令和4年度見込み 18時間	令和5年度見込み 17時間	令和2年度実績 59時間	令和3年度実績 38時間	令和4年度実績 76時間	令和5年度実績 67時間	令和5年度対見込 量394%	令和5年度対前年度比 下降88%
31	行動援護	量の見込み(月平均利用時間)	障がい児	令和3年度見込み 95時間	令和4年度見込み 92時間	令和5年度見込み 90時間	令和2年度実績 188時間	令和3年度実績 393時間	令和4年度実績 389時間	令和5年度実績 473時間	令和5年度対見込 量526%	令和5年度対前年度比 横ばい年度 上昇122%
32	行動援護	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 5,166時間	令和4年度見込み 5,830時間	令和5年度見込み 6,583時間	令和2年度実績 4,277時間	令和3年度実績 4,982時間	令和4年度実績 5,984時間	令和5年度実績 7,076時間	令和5年度対見込 量107%	令和5年度対前年度比 上昇118%
33	重度障がい者等包括支援	月平均利用者数	身体	令和3年度見込み 1人	令和4年度見込み 1人	令和5年度見込み 1人	令和2年度実績 0人	令和3年度実績 0人	令和4年度実績 0人	令和5年度実績 0人	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
34	重度障がい者等包括支援	月平均利用者数	知的	令和3年度見込み 1人	令和4年度見込み 1人	令和5年度見込み 1人	令和2年度実績 0人	令和3年度実績 0人	令和4年度実績 0人	令和5年度実績 0人	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
35	重度障がい者等包括支援	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 2人	令和4年度見込み 2人	令和5年度見込み 2人	令和2年度実績 0人	令和3年度実績 0人	令和4年度実績 0人	令和5年度実績 0人	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
36	重度障がい者等包括支援	量の見込み(月平均利用時間)	身体	令和3年度見込み 240時間	令和4年度見込み 240時間	令和5年度見込み 240時間	令和2年度実績 0時間	令和3年度実績 0時間	令和4年度実績 0時間	令和5年度実績 0時間	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
37	重度障がい者等包括支援	量の見込み(月平均利用時間)	知的	令和3年度見込み 240時間	令和4年度見込み 240時間	令和5年度見込み 240時間	令和2年度実績 0時間	令和3年度実績 0時間	令和4年度実績 0時間	令和5年度実績 0時間	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
38	重度障がい者等包括支援	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 480時間	令和4年度見込み 480時間	令和5年度見込み 480時間	令和2年度実績 0時間	令和3年度実績 0時間	令和4年度実績 0時間	令和5年度実績 0時間	令和5年度対見込 量0%	令和5年度対前年度比 該当なし
39	訪問系サービス計	月平均利用者数	身体	令和3年度見込み 371人	令和4年度見込み 370人	令和5年度見込み 369人	令和2年度実績 416人	令和3年度実績 433人	令和4年度実績 440人	令和5年度実績 457人	令和5年度対見込 量124%	令和5年度対前年度比 横ばい104%
40	訪問系サービス計	月平均利用者数	知的	令和3年度見込み 418人	令和4年度見込み 457人	令和5年度見込み 503人	令和2年度実績 476人	令和3年度実績 509人	令和4年度実績 538人	令和5年度実績 569人	令和5年度対見込 量113%	令和5年度対前年度比 横ばい106%
41	訪問系サービス計	月平均利用者数	精神	令和3年度見込み 309人	令和4年度見込み 328人	令和5年度見込み 348人	令和2年度実績 379人	令和3年度実績 427人	令和4年度実績 460人	令和5年度実績 499人	令和5年度対見込 量143%	令和5年度対前年度比 横ばい108%
42	訪問系サービス計	月平均利用者数	障がい児	令和3年度見込み 58人	令和4年度見込み 60人	令和5年度見込み 62人	令和2年度実績 82人	令和3年度実績 94人	令和4年度実績 104人	令和5年度実績 104人	令和5年度対見込 量168%	令和5年度対前年度比 横ばい100%
43	訪問系サービス計	月平均利用者数	合計	令和3年度見込み 1,156人	令和4年度見込み 1,215人	令和5年度見込み 1,282人	令和2年度実績 1,353人	令和3年度実績 1,463人	令和4年度実績 1,542人	令和5年度実績 1,629人	令和5年度対見込 量127%	令和5年度対前年度比 横ばい106%

44	訪問系サービス計	量の見込み(月平均利用時間)	身体	令和3年度見込み 15,729時間	令和4年度見込み 15,996時間	令和5年度見込み 16,263時間	令和2年度実績 14,054時間	令和3年度実績 15,050時間	令和4年度実績 15,892時間	令和5年度実績 16,236時間	令和5年度対見込 量100%	令和5年度対前年度比横ばい102%
45	訪問系サービス計	量の見込み(月平均利用時間)	知的	令和3年度見込み 5,292時間	令和4年度見込み 5,960時間	令和5年度見込み 6,716時間	令和2年度実績 4,030時間	令和3年度実績 4,551時間	令和4年度実績 5,519時間	令和5年度実績 6,536時間	令和5年度対見込 量97%	令和5年度対前年度比上昇118%
46	訪問系サービス計	量の見込み(月平均利用時間)	精神	令和3年度見込み 2,899時間	令和4年度見込み 2,841時間	令和5年度見込み 2,784時間	令和2年度実績 3,492時間	令和3年度実績 4,441時間	令和4年度実績 5,180時間	令和5年度実績 5,660時間	令和5年度対見込 量203%	令和5年度対前年度比横ばい109%
47	訪問系サービス計	量の見込み(月平均利用時間)	障がい児	令和3年度見込み 1,028時間	令和4年度見込み 998時間	令和5年度見込み 969時間	令和2年度実績 1,308時間	令和3年度実績 1,629時間	令和4年度実績 1,758時間	令和5年度実績 2,035時間	令和5年度対見込 量210%	令和5年度対前年度比上昇116%
48	訪問系サービス計	量の見込み(月平均利用時間)	合計	令和3年度見込み 28,884時間	令和4年度見込み 30,051時間	令和5年度見込み 31,333時間	令和2年度実績 26,760時間	令和3年度実績 30,324時間	令和4年度実績 32,992時間	令和5年度実績 35,971時間	令和5年度対見込 量115%	令和5年度対前年度比横ばい109%
見込量の確保度				◎	見込量を概ね上回っている							

表2 (イ) 見込量確保に向けての取組の状況
以下表 対応する計画本文 年度 取組状況を表示

1	計画本文 重度障がい者に対しては、必要に応じた複数派遣の支給決定など、手厚い体制で支援が行えるよう取り組みます。	令和3年度 取組状況 重度障がい者を始め、障がい者の心身の状況やニーズ及び必要性に応じて、ヘルパー等の複数派遣の支給決定を実施した。	令和4年度 取組状況 令和3年度同様、障がい者の心身の状況やニーズ及び必要性に応じて、ヘルパー等の複数派遣の支給決定を実施した。	令和5年度 取組状況 障がい者の心身の状況やその他配慮すべき事項、ニーズ等を踏まえ総合的に勘案したうえで、必要に応じ、ヘルパー等の複数派遣の支給決定を実施した。
2	計画本文 障がい特性に対応したサービスの提供体制を確保するため、喀痰吸引等研修、同行援護従業者養成研修、強度行動障がい支援者養成研修等の受講支援に取り組みます。	令和3年度 取組状況 サービス提供に必要な人材養成のために障害福祉サービス等資格取得支援事業を実施し、人材養成のための研修費の一部補助を行った。	令和4年度 取組状況 令和3年度同様、障害福祉サービス等資格取得支援事業を実施した。周知方法を改善したこともあり、活用事業所が増加した。	令和5年度 取組状況 令和3、4年度同様、障害福祉サービス等資格取得支援事業を実施。活用人数が年々増加している。行動援護、喀痰吸引の活用が多く見られた。
3	計画本文 今後もサービス利用の増加を見込んでおり、安定的なサービス提供を行うため、福祉人材の確保について、事業所とともに検討を進めます。	令和3年度 取組状況 介護職の賃金及び職場環境を改善し、既存職員の離職防止及び参入促進を図るため、福祉・介護職員処遇改善加算取得支援事業を新たに実施した。また、福祉人材確保に向けて関係機関と連携確認を行った。	令和4年度 取組状況 福祉・介護職員処遇改善加算等取得支援事業については、個別訪問を15事業所で実施。6事業所が加算取得につながった。大学連携の取組も進み、学園祭での授産製品販売や、課題提示型授業への参加を実施した。	令和5年度 取組状況 福祉・介護職員処遇改善加算等取得支援事業については、個別訪問を20事業所で実施。4事業所が加算取得につながった。大学連携の取組も進み、大学内での講義や学園祭での授産製品販売を行った。
見込量確保に向けての取組の進捗度		◎	取組を実施している	

(ウ)評価	
a 分析	訪問系サービス全体の実績値としては、見込量を上回った。 障害福祉サービス等資格取得支援事業及び福祉・介護職員処遇改善加算等取得支援事業は、定期的な周知やホームページの充実を行い、活用の実績が増加した。 また、障がい福祉人材の確保のため、事業所へヒアリング等を行い確保策の検討を行った。
b 総合評価 A	
c 今後の取組	重度化が進む障がい者等の支援において、複雑かつ困難な支援を実施できる人材及び支援体制の確保が必要であるため、そうした支援に対応できる人材の確保・養成への取組を重層的に進める。